



### 障害者差別解消法施行後の実施と取り組みは「市民への周知を引き続き行う」

佐藤 太信 議員

議員 障害者差別解消法が施行された1年になる。不当な差別的取り扱い及び合理的配慮の不提供についての相談件数と、法施行後の実施と取り組みは。福祉部長 これまで、障害者差別解消法に基づく相談の事例はない。法律に対する市民への周知を引き続き行う。

教育部長 市内小中学校に確認したところ、そのような報告はなかった。今後、関係課や関係機関と連携を図りガイドライン作成を考えている。

議員 大人も含めて障がい者は自分から声を上げられない人もいる。そういう心の声をくみ取れる相談体制をお願したい。

議員 バリアフリー基本構想は、高齢者や障がい者の目線を設計や建築に反映することができると。推進方針は、都市整備部長 今後、基盤整備が進んだ時点で基本構想の策定を推進し、高齢者や障がい者などを含めた協議会等の設置を検討する。



戸田公園駅にある内方線付き点字ブロック。平成29年度は戸田駅、北戸田駅に設置予定。

### 白田の湯 戸田市唯一の保養所は「民間施設の代替利用を含め検討する」

本田 哲 議員

議員 公共施設再編プランでは、「施設の廃止を含め、民間施設の代替利用等について検討

する」となっているが、白田の湯の存続を望む声が多く寄せられている。戸田市唯一の保養所は存続させるべき。

5年後の平成34年なので、今後、建物の売却や取り壊し等を敷地所有者と協議、検討する。宿泊サービス等は、旅館やホテル等と保養施設契約を結び、市民に利用していただくなど、民間施設の代替利用も含め検討する。



議員 利用者、市民の声は聞くのか。

議員 フラワーセンター戸田の運営終了で、雇用されていた障害者等の働く場がなくなりました。一事業終了で、仕事が継続できない方をどうやってはならないかと考える。対応はどうしているのか。

※内方線付き点字ブロック……視覚障害者がホームから転落するのを防ぐために新たに考え出された点字ブロックで、従来の点字ブロックに線が一本加わり、どちら側に電車が来るのかが、わかるようになっている。

### 今後、市や学校と連携・支援を「必要に応じて支援・協力したい」

金野 桃子 議員

議員 日本は先進国の中で相対的貧困が高いという。全国で広がっている「子ども食堂」が戸田市でも始まるうとしている。今後、市や学校と連携できないか。

子ども青少年部長 「子ども食堂」は子どもや親の居場所、地域とつながる場所として有効。必要に応じて支援・協力していきたい。

議員 「就労」だけではなく「起業」への支援として、公共施設等でのチャレンジショップを企画しては。あわせて座談会の開催を。



議員 団塊の世代が後期高齢者となる2025年までに地域包括ケアシステムを構築することが必要だ。医療と介護の連携強化を。

※クラウドファンディング……プロジェクトに対する賛同者をネット上で募り、資金の提供や協力などを集める仕組み。

### 奨学金 相対的貧困の子どもたちへ「給付型制度の創設に向け準備中」

矢澤 清河 議員

議員 中高校生の教育の向上のため、名誉市民

の中村様からご寄付をいただき、「戸田市教育基金」が設立された。この基金を生かして、

相対的貧困の状態にあるご家庭の中学生を対象とした奨学金制度を創設してはどうか。



議員 生徒の努力が反映し、意欲が向上するよう工夫してはどうか。

議員 返礼品競争が過熱している。現在の物

※クラウドファンディング……プロジェクトに対する賛同者をネット上で募り、資金の提供や協力などを集める仕組み。